

データ活用の推進に関する主な動き（報告）

1 データ活用に関する職員アンケートの実施

横浜市官民データ活用推進計画は、施策1に掲げた「データを重視した政策形成・基礎的データの整備の推進」の評価指標として「政策形成にあたり、データ活用を意識している職員の割合」を設定しています。このため、市職員向けにアンケートを実施します。

【日 程】平成31年1月中旬～2月上旬（予定）

【対 象】市職員（局部長級を除く行政職員及び企業局職員）

※医療職員、教育職員及び消防職員は除く。

【方 法】無作為抽出した約4,000名に対し依頼メールを送信

メールに記載したURLにアクセスし、アンケートフォームから回答

2 オープンデータ推進指針の改定

本市の「オープンデータの推進に関する指針」（平成26年3月）を、その後策定された国の指針等を踏まえ改定するにあたり、改定内容を議論する関連部署による検討会を開催します。検討を踏まえた改定時期は31年3月頃の予定です。なお、同時期に、市ウェブサイトのリニューアルに合わせたオープンデータカタログ（オープンデータ専用のポータルサイト）も開設します。

【日 程】第1回：平成30年12月21日（金）、第2回：31年2月頃予定

【メンバー】総務局行政・情報マネジメント課、市民局市民情報課、同広報課、財政局契約第二課、政策局政策課（オブザーバー：政策局統計情報課、共創推進課）

3 データ活用フォーラム「医療・健康分野におけるデータ活用」の開催

市民への普及啓発の一環として、生活に身近な分野をテーマにしたデータ活用に関するフォーラムを、横浜市立大学（エクステンション講座）との共同企画として開催します。

【日 時】平成31年1月22日（火）13：30～16：00

【対 象】市民 定員100名

【講演者】阿部 貴行氏（横浜市立大学データサイエンス学部准教授）

東郷 香苗氏（ファイザー株式会社 コーポレートアフェアーズ、ヘルス&バリュー アウトカム&エビデンス アナリティクスチーム部長）

岩崎 学氏（横浜市立大学データサイエンス学部教授）

4 職員向けデータ活用人材育成研修（データ活用入門セミナー）の実施

【第2回「行政による行政データの使いみち」】[平成31年1月16日(水)]

「住民基本台帳情報などを活用したプッシュ型情報提供」（千葉市）/「ETC2.0のビッグデータを活用した交通安全対策」（国土交通省+道路局）

【第3回「データ連携による新たな価値の創造」】[平成31年1月29日(火)]

「APIエコノミーが生み出す新たなサービスの可能性」（日本IBM）/「かわさきアプリとデータ連携・活用による新たな住民サービス」（川崎市）

行政による行政 データの使いみち

**住民基本台帳情報などを活用した
プッシュ型情報提供**

千葉県総務局業務改革推進課

**ETC2.0のビッグデータを活用した
交通安全対策**

国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所+道路局施設課

平成31年1月16日(水)

15:00~17:00

関内中央ビル10階大会議室/ 定員80名

第2回 第3回

平成31年1月29日(火)

9:30~11:30

研修センター301・302号室/ 定員100名

データ連携による 新たな価値の創造

**APIエコノミーが生み出す新たな
サービスの可能性**

早川ゆき氏

(日本IBM株式会社IBMクラウド事業本部
エグゼクティブ・アーキテクト)

**「かわさきアプリ」とデータ連携
・活用による新たな住民サービス**

川崎市総務企画局ICT推進課

データ活用
入門セミナー